

# 認知と感性の解析とそのヒューマンインタフェースへの応用

キーワード[認知, 感性, 知覚, 理解, ヒューマンインタフェース]

教授 野本 弘平

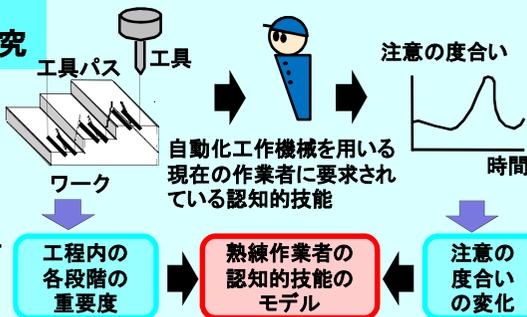
## 人々の行動を左右する感性要求の研究

各番組のTV画像を人々が無意識に望んでいる画質に自動設定



## 自動化機械を操るものづくり技能の研究

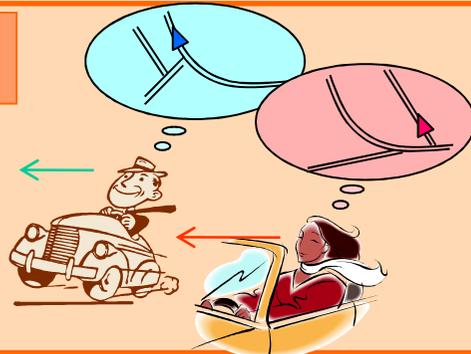
自動化された生産現場においても、技能は存在する。それは、メタ認知の技能であり、熟練作業者は工程の性質により注意量の制御を行っている。



## 移動時における状況認識と空間認知との関係研究

正しく目的地に行ける人と、よく道に迷う人との違いは何？

見ているものが違う？  
それとも認識の仕方が違う？



内容:

人が獲得している多くの能力、たとえば職務的技能、移動時の方向感覚、機械やソフトを使いこなすコツなどは、それが出来るにもかかわらず、自分でもうまく説明出来ません。これらは無意識の認知的能力であり、暗黙知と呼ばれています。一方、人は自分でも気づいていない感性的規則に従って、一定のものを好み、行動を選択しています。

これらの認知的能力や感性的規則を理解することが出来れば、ユーザにとって安全で快適でそして効率的な製品を設計することが可能となります。このことは、複雑になりすぎて直感的な使い方が出来なくなった現代のハイテク機器には、特に大切なことです。

私たちの研究室では、実験を行い、認知的能力や感性的規則を客観的で定量的なデータとして獲得します。そして、統計やソフトウェアの理論を用いた解析を行い、このデータに基づいてモデルを構築します。そのモデルは、ある環境下におけるユーザと機械との関係を表しています。この関係を理解することにより、私たちは人間の特性に即したヒューマンインタフェースの設計手法を開発します。

分野: 情報科学  
専門: ヒューマンインタフェース

E-mail : [nomoto@yz.yamagata-u.ac.jp](mailto:nomoto@yz.yamagata-u.ac.jp)

Tel : 0238-26-3332

Fax :

HP : <http://hif-lab.yz.yamagata-u.ac.jp/>

